



碧南ロータリークラブ週報

第2860回例会 平成30年3月14日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



ロータリー:
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

碧南海浜水族館 館長 増田元保様

●本日の卓上花

スプレーバラ

会 長 挨拶

こんにちは。本日は木村会長に代わりましてご挨拶をさせていただきます。3月に入ってから日中は暑くなり、夜は少し冷え込むようになりました。皆様も風邪を引かないように予防をしっかりとっていただきたいと思います。

早速でございますが、皆さん、今日は何の日でしょうか。ご存知だと思いますが、今日はホワイトデーでバレンタインデーのお返しの日ということでございます。皆さんも経験されていると思いますが、私も若い頃は、バレンタインデーはただ、チョコレート、ネクタイ、Y シャツなどを贈られる日だと思っておりました。お返しをしないといけないということを本当に知りませんでした。それで高く付いたなという思い出があります。今は娘に貰うぐらいであります。

さて、バレンタインデーとホワイトデーについて、少しお話しさせていただきます。バレンタインデーの始まりは、西暦 269 年に兵士の自由結婚禁止政策に反対したバレンタイン司教がローマ皇帝の迫害により処刑された日の 2 月 14 日を記念として、恋人たちの愛の誓いの



平岩辰之副会長

日となったようでございます。愛を語るのもこの時代は命懸けだったようでございます。ヨーロッパでは、この日を「愛の日」として花やケーキ、カードなどを贈る風習が続いておりました。チョコレートを贈るのは日本独自のもので、現在ではチョコレートの年間消費量の4分の1がこの日に消費される国民的行事となりました。

ホワイトデーは、バレンタインデーのお返しの意味で、飴菓子組合により「キャンディを贈る日」ということで1980年に始まったそうです。また、ホワイトデーを3月14日に定めたというのは、バレンタイン司教に救われ、神父が殉教しました2月14日に愛を誓い合い、その1ヶ月後の男女が改めて永遠の愛を誓い合ったことに由来していると言われております。

世の中には色々な日がございます。ロータリーには月によって色々な活動月間がございます。事業計画表を見ていただきますと、8月は会員増強月間、10月は米山月間、11月はロータリー財団月間、1月は職業奉仕月間、5月は青少年奉仕月間など、皆さんご存知だと思いますが、その他の月で皆さんのあまり知らないバレンタインデーのある2月では、平和と紛争予防／紛争解決月間がございます。これは紛争予防と仲裁に関して、将来にリーダーとなる人材を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間でございます。また、ロータリー創立記念日の2月23日は、「世界理解と平和の日」として順守されております。ホワイトデーのある3月は水と衛生月間でございます。4月は母子の健康月間でございます。まだまだ色々なロータリー月間がございます。色々な月間を知っていただき、地域の問題や世界的な問題に対するロータリーの影響、クラブ地区の活動と訪問など、クラブの情報を収集することによってロータリアンとして成長されることが肝要かと思っております。

以上で会長代理挨拶とさせていただきます。失礼致しました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第9回の理事会報告並びに他クラブの例会変更は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 碧南高浜防犯協会連合会より「春の安全なまちづくり県民運動の実施について(お願い)」とポスターを皆様に配布させていただきました。
- ・ 次週の21日は法定休日となります。次回例会は28日となりますので、お間違いの無いようによろしくお願い致します。



角谷信二幹事

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 8 名)出席者 54 名	
出席対象者 54/60 名	出席率 90.00%
欠席者 14 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 平岩 辰之君 本日で、3回目の会長代理挨拶をさせていただきます。もう1回ありそうですが、よろしくお願いします。
- 角谷 信二君 環境緑化事業「植樹式」が無事終了致しました。当日出席会員皆様に、心より感謝します。
- 平岩統一郎君 息子が結婚しました。
- 山中 寛紀君 3月11日 日曜日、チョット良いことがありました。
- 荻谷 賢治君 本日、卓話講師 増田元保様を御紹介させていただきます。

卓 話

「水族館のお仕事」

碧南海浜水族館 館長 増田元保様



増田元保様

私のような者がここでお話をして良いのかなと思いつつ来たのですが、館長になって6年が経ち、実はこの3月末で定年になりますので、凄く良い記念にこのような機会をいただけてありがたく思っております。

今日は「水族館のお仕事」ということで、皆さんのお子さんが小さかった時などに来たことがあるかもしれませんが、水族館とはどんな所かというお話をしていきたいと思っております。

水族館の歴史ということで、人間が魚を飼育した記録を辿ってみると、紀元前まで遡ることができます。最初は食べるために飼育を始めました。そして、観賞魚としてガラス容器に入れ、眺めた記録としては17世紀ぐらいからです。今のような水族館としての形態が整ったのは19世紀(1853年)にロンドンの動物園内にできました。ヨーロッパでは今でも動物園の中に水族館があるタイプがたくさんあります。

日本では1882年に上野動物園の中に水族館「うをのぞき」ができたのが最初だと言われています。福沢諭吉がヨーロッパに西洋事情を調べに行った時に何度も何度も動物園を見ました。そして、ヨーロッパの動物園を真似して上野に造って、その中に水族館を造ろうということになりました。「動物園」という言葉は、福沢諭吉が作ったものだと言われておりま

す。その後、約 130 年の歴史の中で 310 を超える水族館が開館しております。現在残っているのが、大小を合わせて 100 ほどあります。愛知県には 4 つあり、静岡、愛知、三重が非常に多いです。その内、日本動物園水族館協会に加盟しているのは 64 館になります。その内、登録博物館の水族館は日本に 5 つしかありません。

水族館はどんな仕事をしているかということ、飼育の管理ということで、生き物を扱っていますので、土日休んでいいかということそうではありませんし、年末年始も誰かが交代で管理しております。そして、教育普及・調査研究ということで、博物館として、自然保護などの啓発活動をしております。それと、水族館は設備が重要で止まってしまうと死んでしまいますので、日頃からのメンテナンスがとても大事になっております。それ以外には、事務管理的なことでチケット販売や経理やお客様へのサービスなどが水族館の仕事になります。認定水族館になるには、人気のあるものだけではなく、バランスの取れた水族館にすることがとても大事になります。

碧南海浜水族館の特長ということで、クラゲの展示を最初に始めたのが上野動物園で、その次に始めたのが江ノ島水族館で、3 番目に始めたのが鳥羽水族館と碧南海浜水族館になります。クラゲの展示の歴史として非常に古い頃からやっております。また、トラザメという 50～60cm ぐらいにしかならないサメを飼育しており、毎月 2 個ずつ卵を産みますので、どんどんサメが増えてしまいます。それを何とかコントロールできないかということでやったのが、サメの人工授精です。オスメスを別々に飼育して、オスから精子を採って、必要な時にメスに精子を入れればいいんじゃないかということで、注射器でメスに精子を入れてやってみました。そうしたら、うまくいまして世界初のサメの人工授精になりました。

現在、水族館でビオトープを作ろうとしています。なぜ今ビオトープを作ろうとしているかということ、ヘビイチゴが無い、普通の生き物がいない、守るのは魚だけではないということに気づき、生き物が住める場所が必要ということで、少しでも生き物たちに住める場所を還そうという考えになったからです。そして、水族館のリニューアル構想の 1 つにビオトープを盛り込み、市民委員を募り、協議会を発足したところ、テーマは「西三河の自然」に決まりました。市民の憩いの場であり、観察体験ができる場、西三河の自然の魅力を発信する場、希少魚の保護の場ということで、コンセプトを作ってスタートしていきました。そうした中で、碧南周辺にあったもの以外は絶対に入れてはいけないということで、いつできるかということ本当にビオトープらしくなるには 10～20 年掛かるのではないかなと思っております。

これからの碧南海浜水族館の展望は、これまで通りフィールド調査を基にした環境教育を中心とした活動、テーマやはっきりとしたコンセプトを持った展示コレクションプラン、大学や企業、地元市民や自治体と連携した組織作り、自然再生・環境保護の拠点を目指して今後もやっていけたらと思います。

どうもありがとうございました。

次回例会案内

平成30年4月4日（水）12:30～ 衣浦グランドホテル
卓話「高校野球を通しての人間教育」 教諭 伊良皆高芳様